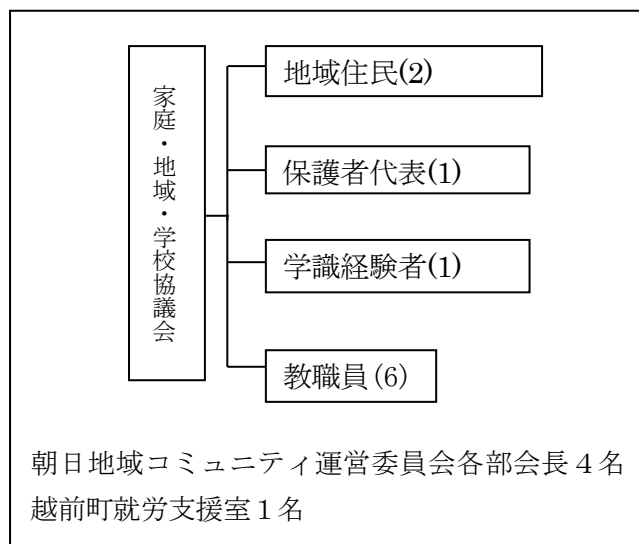


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

(2) 協議会の内容



- 第1回地域学校協議会(5/16)
・スクールプラン、年間評価計画の説明
- 第2回地域学校協議会(7/30)
・中間自己評価の説明
- 第3回地域学校協議会(1/15)
・年間自己評価報告書の説明
- 第4回地域学校協議会(2/3)
・学校関係者評価書の説明

(3) 協議会における成果と課題

協議会での協議を受けて、地域を知る機会と調査活動を共有する場を設定することができた。今後は、生徒の調査活動の結果を協議会のメンバーに審査していただく機会を設け、深い学びにつなげられるようにする。

2 地域と進める体験活動

『my star を手に入れろ!』

(1) 活動のねらい

生徒が地域の人、事業所、文化財、伝統工芸と触れ合う機会を設け、ふるさとのよさに気づき、越前町に誇りや愛着を持ち、将来にわたって地域に貢献する心情を育てる。

(2) 活動の実際

① 「越前町活性化プロジェクト」

(第3学年総合的な学習の時間)

地域コーディネーターの支援のもと、ふるさとの事業所訪問、文化財や伝統工芸に触れ、自分の町のよさを再発見する活動を行った。町をよりよくするためのアイデアをまとめ、発表会を行った。

② 「一人一ボランティア活動」 (部活動単位)

校区内では、地域コミュニティ運営委員会「eーとこ朝日」等が主催するボランティア活動が、年間3回ある。一人1回は、いずれかの活動に参加した。

③ 「地域のマイスターから技を学ぼう」

(第1学年総合的な学習の時間)

地域の職人や特技を持つ人を招き、技を生かして地域に貢献している人の存在を知る



一人一ボランティア活動

とともに、自分の興味のある技を体験した。（手話、手品、勾玉づくり、水墨画、茶道）

④「町内の優れた産業を知ろう」

（第1学年総合的な学習の時間）

町就労支援室の協力を得て、町内全域の様々な事業所（8事業所）の見学と簡単な職場体験を行った。学んだことをレポートにまとめ、発見した情報を共有し合った。



地域のマイスターから技を学ぼう

(3) 地域コーディネーターについて

①地域コーディネーター（5名）

昨年度と同様に、朝日地域コミュニティ運営委員会「eーとこ朝日」委員4名（自然環境産業部会、歴史文化部会、青少年育成部会、ふれあい部会の部会長）に委嘱した。また昨年度同様、町商工観光課就労支援室の職員1名も委嘱し、キャリア教育の支援を受けた。

②地域コーディネーターの活動概要

地域で特技を持っている人の紹介、地域内の名所・特徴的な事業所の選定、その他学校側が企画した活動を具現化するための支援を行った。

(4) 特に工夫した事項

今年度は、昨年度まで学校祭で行っていた「地域のマイスターから技を学ぼう」を第1学年に限定し、総合的な学習の時間の活動が系統的・発展的・探究的な活動になるようにした。今後は、地域コーディネーターとの連携を深め、地域に開かれたカリキュラムを策定していく。

(5) 成果と課題

活動後の生徒の感想文等によれば、好意的反応が大多数を占めるなど、一つ一つの活動の満足度は高かった。しかし、次の活動への意欲につながっていない。その原因として、

①総合的な学習の時間への取組が、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成の両方につながっていないこと

②体験活動の感想を書くことで活動が終わっていること

が挙げられる。次年度は、計画に連続性を持たせ、この取組を持続可能な体験事業にして、学校、生徒が「地域に提言する」活動にしたい。